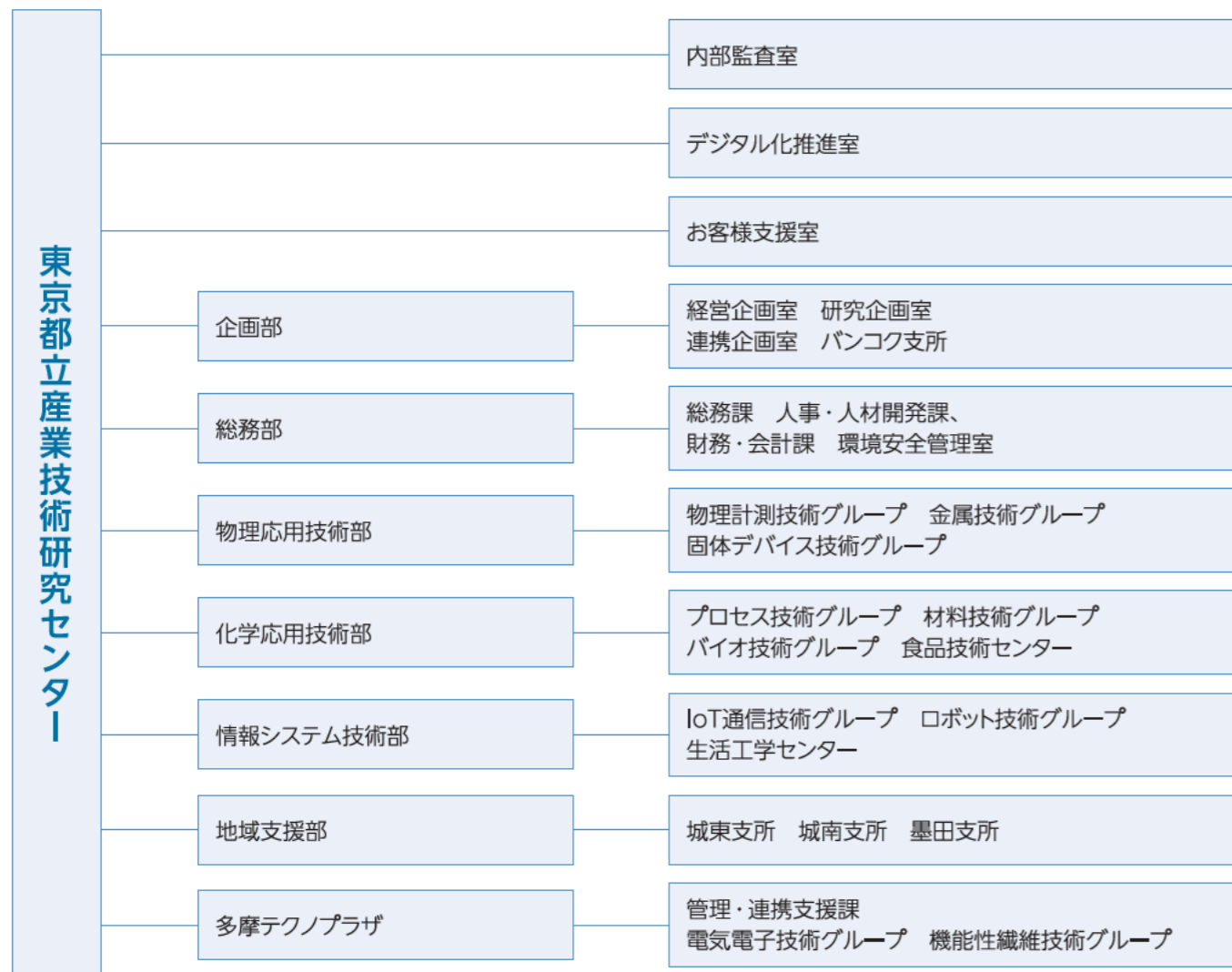


## 組織



## 住所・連絡先

本部	〒135-0064 江東区青海2-4-10 TEL. 03-5530-2111(代表)
DX推進センター	〒135-0064 江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟 TEL. 03-5530-2558
多摩テクノプラザ	〒196-0033 昭島市東町3-6-1 TEL. 042-500-2300
城東支所	〒125-0062 葛飾区青戸7-2-5 TEL. 03-5680-4632
城南支所	〒144-0035 大田区南蒲田1-20-20 TEL. 03-3733-6233
墨田支所	〒130-0015 墨田区横網1-6-1 KFCビル12階 TEL. 03-3624-3731
食品技術センター	〒101-0025 千代田区神田佐久間町1-9 東京都産業労働局秋葉原庁舎 6階～8階 TEL. 03-5256-9251
バンコク支所(タイ王国)	399 Interchange building, 20th Fl, Sukhumvit Road, Khlong Toey Nua, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL. +66-(0)2-712-2338

2026年4月発行 登録番号 都産技2026-01号

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター



## 事業案内

TIRI Overview



<https://www.iri-tokyo.jp/>

# 都産技研は東京都の産業の発展を技術で支え、都民生活の向上に寄与します。

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(以下、「都産技研」)は、都内中小企業への技術的な支援を行うことにより都内中小企業の振興を図り、都民生活の向上に寄与することを目的として、東京都により設置された公設試験研究機関です。

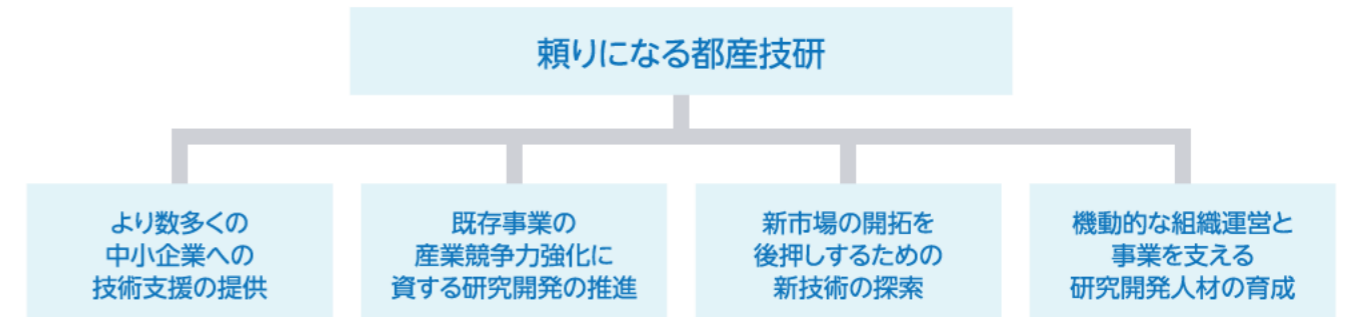
2026年度からの第五期中期計画では、変化の激しい時代においても変わらずに「頼りになる都産技研」であり続けるため、組織自身の「進化」と技術の「連携・融合」を掲げました。都産技研の多様な技術分野を掛け合わせることで、技術支援の質を一層高めます。さらに、各支所を拠点とした地域特性に応じたきめ細かな支援の展開と、戦略的な情報発信によるプレゼンスの向上を図り、より多くの企業に支援をお届けしてまいります。

研究開発においては「深化型イノベーション」とともに「探索型イノベーション」を推し進めるために、産業の未来を見据えた技術シーズの創出に注力します。また、オープンイノベーションのハブとして、都産技研が持つ技術力だけではなく、外部機関や企業の知恵と活力を有機的に結びつけることで、中小企業やスタートアップとともに、複雑化する社会課題の解決に取り組めます。不確実な時代だからこそ、私たちは「産業を担う東京の中小企業を科学技術で支える」という使命を果たすために、組織として一体感を持ち、技術や組織の壁を超えた総合力の発揮を目指してまいります。



理事長 黒部 篤

## 経営方針



## 沿革

年月	内容
1921年10月	府立東京商工奨励館(東京都立工業奨励館の前身)設立
1924年8月	東京市電気研究所(東京都電気研究所の前身)設立
1927年3月	東京府立染織試験場(東京都立繊維工業試験場の前身)設立
1959年7月	東京都立アイソトープ総合研究所設立
1970年12月	東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センター設立
1990年7月	東京都立食品技術センター設立
1997年4月	東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、東京都立産業技術研究所として設立
2000年4月	東京都立繊維工業試験場と統合
2006年4月	東京都立産業技術研究所と城東・城南・多摩中小企業振興センター技術部門を統合し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
2021年4月	東京都立食品技術センターと統合
2021年10月	設立100周年を迎える

## 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

### 明日のくらしと産業を支えるために

#### 基本理念

##### 私たちの使命

産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献することが私たちの使命です

##### 私たちの理想

地球を取り巻く課題を常に意識し、未来を見つめ、日々の努力と英知をもって果敢に挑みつづけることが私たちの理想です

##### 私たちの信条

すべての人々の喜びと安心を大切に、豊かな創造力と優れた技術に基づく公正なサービスを提供することが私たちの信条です

#### 行動指針

私たちは、基本理念の精神を実現するために、以下の指針に従って行動します

1. 誠実であり続けます (誠実)
2. 科学技術で社会に貢献します (技術)
3. 環境保護に取り組めます (環境)
4. 活気に満ちた健全な職場をつくります (活力)
5. 自らの向上に努めます (研鑽)
6. 適正に業務を行います (適正)
7. 情報を適切に取り扱います (情報)

役員は、率先垂範して憲章を実現するために行動します



府立東京商工奨励館  
1921年～1943年



東京都立工業技術センター  
1970年～2006年



東京都立産業技術研究センター  
2006年～現在

## 東京の産業を支える技術支援

企画・設計・試作から評価試験まで、さまざまな技術分野で技術支援を行い、中小企業のお客さまのイノベーションを加速します。

### 技術相談

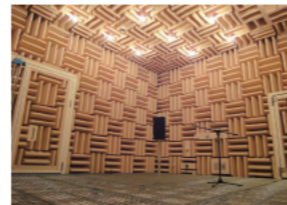
製品の企画・設計・試作から実用化、品質管理、事故解析など、幅広い分野で技術的なご相談をお受けします。最適な分析方法や測定方法、評価方法をご提案します。



総合支援窓口

### 依頼試験

製品やサンプル、材料などをお預かりして試験を行い、試験報告書を発行します。試験結果に基づき、品質証明や事故原因などについて技術的なアドバイスをし、付加価値の高いものづくりをお手伝いします。



無響室

### 機器利用

自社単独での導入が困難な測定機器や分析機器を整備しています。お客さま自身で操作いただけるほか、機器の操作方法についてもご説明します。お客さまの製品や材料などの試作、測定、分析にお役立てください。

### 受託技術支援

技術相談や依頼試験では対応が難しい場合などに、都産技研が保有する技術を組み合わせることで柔軟に対応します。試作品の設計から造形、海外展開に向けた法規制への対応など、幅広く支援します。

### 海外展開支援

製品の海外展開を目指すお客さまへ海外法規制に関する情報提供や技術支援を行っています。なおバンコク支所では、ASEAN地域に進出している日系企業に対して、技術相談を行っています。

### 技術セミナー・講習会

開発、製造、品質管理などを担う技術系人材の知識習得やスキル向上を目的として、講義を行う技術セミナー、講義と実習を組み合わせた講習会を開催しています。オンデマンド配信による技術セミナーも行っています。

### 課題解決型研修

お客さまが抱える技術的課題の解決に向けて、講義や実習の内容を個別にカスタマイズした研修を提供します。技術承継に必要な体系的知識や基本技能の習得にもご活用いただけます。

## ご利用方法

**STEP 1** まずは、ウェブサイトをご確認の上、ご相談ください。(無料)

都産技研ウェブサイトにて、ご利用いただける機器・設備や試験内容をご確認いただけます。簡易的な技術相談を行えるチャットボットをご用意しています。

具体的なお相談は、技術相談受付フォーム、または電話でお問い合わせください。

▶ 技術相談受付フォーム



▶ お電話でのお問い合わせ  
**TEL.03-5530-2140**  
(年末年始を除く平日9時から17時まで)

**STEP 2** 内容をお伺いし、順次、研究員へおつなぎいたします。

総合支援窓口でお問い合わせいただいた内容を確認後、各分野の研究員におつなぎします。対面での相談をご希望の場合は、試験対応などの状況により、お待ちいただくこともございますので、来所日時のご予約をおすすめします。

料金表のご案内

▶ 依頼試験



▶ 機器利用

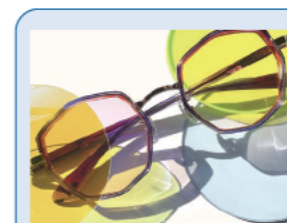


多くのお客さまが都産技研を活用して、技術課題を解決しています。



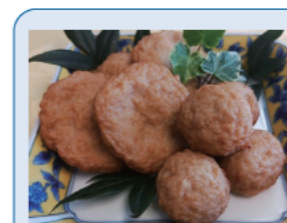
自律移動AI接客ロボット

生成AI利用と  
実店舗導入を支援



個人の明るさ感度を考慮した  
カラーレンズ

個人の明るさ感度測定法  
開発を支援



採卵後のヤマメを用いた  
水産ねり製品

食感を良くする  
製造方法の支援



多機能土壌水分  
センサー

電子回路の設計や  
校正手法の開発を支援

▶ 活用事例・製品化事例



## 東京の産業を活性化させる研究開発

産業の将来展望を見据え、貢献すべき応用分野を設定し、基盤研究を通じて戦略的な技術シーズの蓄積を進めます。さらに、共同研究等を通じて、中小企業のお客さまの製品化・事業化に向けた開発や、生産工程改善などにおける課題解決に貢献します。

### 基盤研究

中小企業等が抱える技術的課題の解決に必要な技術を創出する研究や、保有する技術シーズの活用を目指した技術検証を行う研究などに、科学研究費助成事業等の提案公募型研究の活用も含めて取り組み、技術の実用化に向けた成熟度の向上につなげていきます。



技術シーズ集

### 共同研究

基盤研究で得られた研究成果や保有する技術シーズをもとに、独自の技術と開発意欲を有する中小企業や業界団体等と協力して、製品化・事業化につなげるための共同研究を実施しています。共同研究は年に複数回募集を行います。また、中小企業等が公設試等と連携して行う補助金事業 (Go-Tech事業等) にも、積極的に取り組んでいます。

### 受託研究

委託を受けて、都産技研が短期の研究、調査等を行います。随時受付を行っており、企業等の研究課題に素早く対応できます。研究費は企業等の負担となります。

### 知的財産の有効活用

都産技研による職務発明を登録 (出願) し、中小企業のお客さまに活用していただく (実施許諾) ことによって、技術開発・製品開発を支援しています。

## 東京の産業の未来を拓く研究開発

東京都の政策方針とも連動しつつ、社会構造の変化および技術革新の動向を踏まえた長期的な視点を持ち、都内中小企業が躍進できる新市場の開拓を目指して探索型研究開発を推進します。

### 社会課題・都政課題の解決に向けた技術的知見の蓄積

多様化する社会課題・都政課題の解決に必要となる技術シーズ、社会実装の方策等に関する調査を行い、社会と産業の将来を見据えた新たな技術開発を戦略的に推進します。

### 革新的な技術やサービスの創出につながる共同研究開発

東京の産業の未来につながる、革新的な技術やサービスの創出を目指す中小企業と共同研究を行うことで、社会課題・都政課題の解決に資する先駆的な製品・サービスを創出します。

## オープンイノベーション

### 企業間連携

自社の保有技術を活かしつつ他企業の技術を取り入れて新規事業開発等を行い成長を目指す都内中小企業の皆さまに向け、異業種交流や同業種交流、企業間連携イベント等のさまざまな事業を実施しています。単独企業では困難な技術的課題の解決や新製品・新技術開発を促進します。



企業間連携イベント

### 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発や起業・第二創業を目指す中小企業のお客さまに向けて、都産技研の本部と多摩テクノプラザに、実験室・試験室として利用できる賃貸スペースを用意しています。共用の化学実験室や試作加工室、都産技研の各種設備を活用でき、入居するお客さまのスピーディな製品化・事業化を後押しします。



詳細はこちら



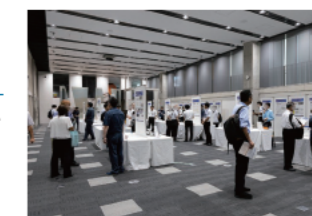
入居者が24時間利用可能な化学実験室

## 情報発信

イベントやウェブサイト、SNSなどさまざまな機会を通して、中小企業のお客さまに役立つ技術情報などを発信しています。

### 研究発表会

日頃の研究成果を、主に中小企業のお客さま向けにご紹介するイベントを開催しています。研究者との交流などを通して、新たな事業展開や技術課題の解決にお役立ていただくことを目的としています。



研究発表会

### 各種イベント

施設の公開など、一般のお客さまに向けた各種イベントを開催しています。



都産技研一般公開

### ウェブサイト・SNS

#### 技術情報メディア『TIRI NEWS』

都産技研が保有する技術シーズや支援事例を発信する、中小企業の経営者、従業員の方のための技術情報メディアです。



詳細はこちら

#### メールニュース

研究発表会やセミナー、講習会の募集案内など、中小企業の皆さまのお役に立つ情報を随時配信しています。



詳細はこちら

#### SNS

note、X (旧 Twitter)、YouTubeで情報を随時発信しています。



詳細はこちら